

# 原始反射と関わり方

発達支援コーディネーター  
東方 健一

## 目次 原始反射と関わり方

---



1

原始反射とは？

- ▶ 胎児、乳幼児の時期に“**発達**の土台”を作ってくれるもの。

受胎 5 週目から 2 歳頃までに様々な反射が “出現”、“発達”、“統合” していきます。

- ▶ 原始反射には大きく 2 つの役割がある。

- 1、**生き残る為**

- 2、**将来の学習や運動、コミュニケーション生活の土台作りの為**

※大人になっても出現することがある

緊張した時



イライラして、戦闘、逃避状態のとき



2

原始反射と反射？

- ▶ 反射とは・・・まばたきやうなずきなど “無意識にやっている行動”  
原始反射・・・古い反射（今はもう普段日常生活ではでない反射）

原始反射は、赤ちゃんの頃に体や脳など、この世界で生きていく為、  
身体機能を作る為に存在。

身体機能が完成した時、原始反射の役割は終わり、日常生活上で  
あまり使う機会がなくなります。

私たちは反射機能で生きています。

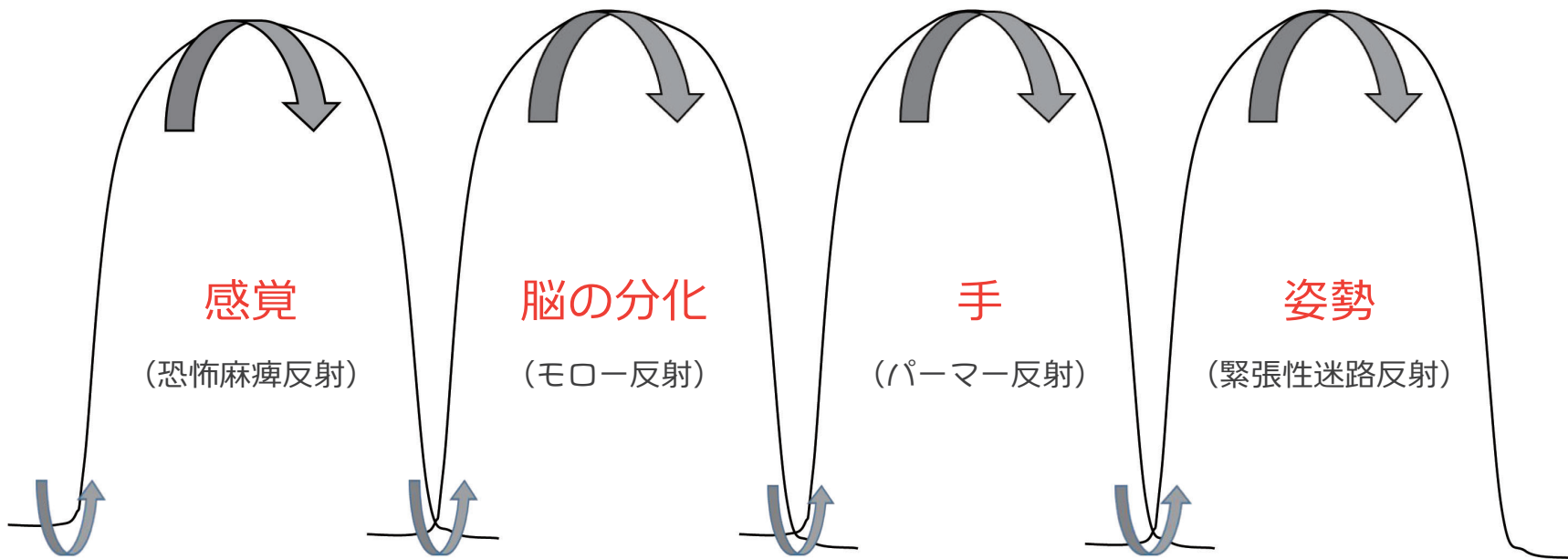
原始反射の選択ができないことが生きづらさにつながっていきます。

3

原始反射の役割

▶ 原始反射の役割

無意識=反射



4

二大反射  
(土台反射)

## ▶ 二大反射（“恐怖麻痺反射” と “モロー反射”）

## “恐怖麻痺反射”のお子さんの特徴

- ・ 引っ込み思案、臆病、内気
- ・ 新しい環境、人が苦手
- ・ 大声で泣き続け動かなくなる。
- ・ 過敏傾向（視覚過敏、聴覚過敏、嗅覚過敏、味覚過敏、触覚過敏など）
- ・ 人が多い所（集団）が苦手
- ・ 車や乗り物酔いがある
- ・ 場面緘黙
- ・ 体を動かしたがる（運動、遊びなど）
- ・ 体の使い方がぎこちない
- ・ 予定の変更とうまく対応できない
- ・ 「だめ」「できない」を連発
- ・ 身近な人（親やよく知っている人）から離れるのを嫌がる
- ・ たえず不安な様子
- ・ 感情を言葉で表しにくい
- ・ 否定的
- ・ 繰り返しの行動やオウム返し
- ・ 目を合わせない

等の特徴があります。

## 4

二大反射  
(土台反射)

## “モロー反射”のお子さんの特徴

- ・ 攻撃的で乱暴な印象
- ・ 勝敗にこだわる
- ・ 光、音、肌の感覚過敏
- ・ 視覚の問題（学習にも影響）
- ・ 感情が高ぶりやすい
- ・ 静かに休むのが苦手
- ・ リラックスできない
- ・ 力加減ができない
- ・ 自己評価が低い
- ・ 集団のルール、規則が守れない
- ・ 自分の思い通りにならないと大声を出す
- ・ 集中力がない（落ち着きがない）
- ・ 感情のコントロールができない
- ・ 順番を待てない
- ・ バランスが悪い
- ・ 多動と疲弊を繰り返す。
- ・ 気が散りやすい
- ・ 読み書きが苦手
- ・ 手が出る
- ・ ボール運動、跳び箱、縄跳びが難しい
- ・ 過剰反応する

等の特徴があります。

4

二大反射  
(土台反射)

▶ “恐怖麻痺反射” と反射統合



二大反射の統合がありその後、反射統合がある

## まとめ

危険や、ストレス状態に置かれたとき、生き残るために、大人も無意識に“原始反射”を使ってストレス状態を乗り越えている。



**いつも私たちと隣合わせにある  
自分を助けてくれている必要不可欠なもの**